

# 第9回 春を待つ水鳥たちを見に行こう！

2022.1.23

冬の不忍池は、水鳥を間近で見られるベストスポットです。オナガガモやキンクロハジロ、カワウやユリカモメなどの他に中々間近で観察することのできないカワセミを見ることができ、子ども達はとても喜んでいました。講師の先生からくちばしや脚の色、尾の長さなどから、水鳥の種類の見分け方を教わり、その様々な特徴は、水鳥たちの生態の違いをあらわしていること、近年の温暖化による飛来数の減少についても学びました。

そして最後に、子どもたちは、バードコールを作りました。バードコールとは野鳥観察の時に使用する鳥の鳴き声のような音が出る道具のことです。子どもたちは、実際に音を鳴らしながら、バードコールを使った野鳥観察の方法を教わりました。

今回の観察が、子どもたちが身近な自然と親しむことの楽しさ、生き物を大切に作る心、水鳥たちの環境を守っていくためにはどういう行動をすればいいのか等を考えるきっかけになってくれれば幸いです。



# 第10回 さあ、始めよう！私たちにできること

2022.2.20

10回目は終了式です。これまでの活動を記録した写真を見て、今までやってきたことを振り返りました。各回を振り返り、「楽しかったこと」「難しかったこと」「考えたこと」「わかったこと」「わからなかったこと」など、心の中にたくさん生まれた思い、その目標のために自分は何をするかを未来への約束として書いてもらいました。

今期はゆっくりと会話をすることが多かったと思います。問題に対して人それぞれの考え方があったと思います。人の考えを聞くことは大事なことです。やはり、自分の考えを持つことが一番大事ではないでしょうか。社会の主人公として自分で考え行動する人になってくださるよう期待しています。

宝物を、宝物として守っていけるかどうか、今の私たちの行動にかかっています。



発行日 2022年6月19日  
台東区環境清掃部環境ふれあい館・たいとう環境推進ネット環境学習部会

# 第22期 こども環境委員会 活動報告書

第22期こども環境委員会  
リーダー認定証  
発行日  
2022年2月20日  
台東区環境清掃部 小澤 隆  
たいとう環境推進ネット代表 丸山真由

2021年度「第22期こども環境委員会」は小学校4年生～6年生51名から応募がありました。この数は予想外でした。ここ数年は抽選をする事なく推移していました。今年度は世界中を震撼させているCOVID-19の影響で、区内のこども向け年間プログラムの中止が多く、実施する数少ない事業に応募者が集まったのではないかと推測しています。こども環境委員会も開催が危ぶまれていましたが、例年同様10回の開催予定で参加者を募り、抽選の結果26名の参加者が選ばれました。

参加者は、地球環境や地球上の生き物たちとのつながり、人との関わりなどを学び、いろいろなことを想像し、自分なりに考えながら1年間のプログラムを体験してきました。考えて行動する、その思いの一つひとつを大切に育て、つなげていく手助けができていれば大変嬉しいです。

時代の不透明感が更に強くなり、大人も様々な判断に迷うことが増えてきています。常にスタッフそれぞれも初心に戻って地球の声に耳を澄ませると共に、見えなくてもあるものを感じ、考えていく力を養い、一つひとつ活動を積み重ねていきたいと思っています。

# 第1回 オリエンテーション 友だちと仲良くなろう！

2021.6.20

1回目の目的は、初めて出会う人たちとコミュニケーションを取る事、そして自分自身のことや、まわりのことを知る事、あらゆる「こと」や「もの」はたった一つの地球の中でつながっている、と気づくことです。しっかりと感染症対策を施したうえで、色々なゲームをしながら、自分のことを知ってもらい、知らない人と出会い、他の人と協力することを体験しました。スライドを観て、世界のことや地球の今の状況も少し教えてもらいました。人間の勝手気ままな行動に、「地球」が様々な現象を使って警鐘を鳴らしています。世界中に広がっている「新型コロナウイルス感染症」も、その一つなのかもしれません。

こども環境委員会は、参加者のみなさんに「考えることの大切さ」を学んでほしいと思って活動しています。「環境に良いこと」には「正解」はありません。良いと思って実行してきたことが、別の悪い影響を生み出しているかもしれません。常に考え続け、自分の考えに従って行動する人になってほしいと思っています。私たちが大切な地球のために出来ることを、さあ、いっしょにさがしに行きましょう！



# 第2回 使用済み食用油で石けんづくり

2021.7.18



今回はリサイクルに挑戦です。揚げ物など料理で使った油はその後の料理の中で徐々に使い切ってしまうことが一番良いのですが、それでも使い切れずに残ってしまった食用油(廃油)を原料にして石けんを作りました。作り方は苛性ソーダとお湯と廃油を混ぜるだけ。簡単に見えますが、リサイクルって実は時間も手間もかかり結構大変なことがわかりました。また、廃油のリサイクルは水を汚さない行動であることもわかりました。毎年できあがった石けんを配布していた「環境フェスタたいとう」が、中止になりましたが、家族へのお土産に添付するメッセージカードも作りました。

後半は、環境ふれあい館屋上のソーラーパネルや太陽熱温水器の見学です。屋上に降った雨水は地下に貯めトイレ用水の一部で利用されています。常設の資源回収拠点もあって、環境のことを考えて私たちに出来る行動を色々教えてくれる施設だということを知りました。気温が上がって暑い日になったので、打ち水も実施して効果を実感しました。

# 第22期 こども環境委員会メンバー (リーダー認定証・修了証取得者)

- |                |               |             |               |
|----------------|---------------|-------------|---------------|
| 松本 和果 (台東育英小)  | 齊藤 世悟 (金竜小)   | 一瀬 心美 (根岸小) | 嶋田 匠見 (台東育英小) |
| 片岩 遙 (蔵前小)     | 篠原 理乃 (台東育英小) | 丸山 知紗 (大正小) | 宮川 佳奈 (松葉小)   |
| 森 琳太郎 (金竜小)    | 森 仁一郎 (金竜小)   | 志村 実美 (黒門小) | 鈴木 凜太郎 (蔵前小)  |
| 豊田 瑞歩 (蔵前小)    | 吉田 馨 (台東育英小)  | 天川 明咲 (上野小) | 野尻 紗花 (金竜小)   |
| 折原 大雅 (平成小)    | 入谷 悠斗 (東浅草小)  | 宮崎 雄大 (富士小) | 達 栄人 (田原小)    |
| 横尾 俊太郎 (台東育英小) |               |             |               |

# こども環境委員会ボランティアスタッフ

- |            |      |      |      |
|------------|------|------|------|
| 碓水州恵       | 碓水成人 | 日下竹彦 | 熊谷節子 |
| 坂下 誠       | 善財裕美 | 辻本利雄 |      |
| 渡 龍大 (大学生) |      |      |      |

# 2021年度台東区こども環境委員会活動報告書

編集：たいとう環境推進ネット環境学習部会  
発行：台東区環境清掃部環境ふれあい館

※こども環境委員会のプログラムは地域の学び推進機構が運営する学びのポイントラリーに登録しています。